株式会社源吉兆庵ホールディングス

（訪問日：平成30年8月22日）

高級和菓子店として必ず名前が上がってくる「源吉兆庵」。昭和22年に個人創業して70年余。創業地岡山では、イオンモール岡山の道路向かいの一等地に美術館併設の9階建ての立派な本社ビルを構えています。現在は、岡山、銀座、鎌倉に本店を構え、全国各地に直営店を持ち、ニューヨーク、ロンドン、シンガポールなど海外にも店舗展開。「四季の果実を和菓子に、”Wagashi”の心を世界へ」を企業理念として、グローバル企業に成長した「源吉兆庵グループ」の「働き方改革」について聞いてみました。

←岡山本社ビル

時間外労働

- 販売では、後ろシフトに任せて帰りやすい。
- 製造現場では、閑繁の差が大きく、残業がどうしても発生する。繁忙期には数百人単位でアルバイトを入れるが、それでも足らず、残業で対応するしかない。
- 今のところ、時間外労働の線引きは月60時間。以前、月60時間超は数十人いたが、役員会への報告、オーバーする者に改善策の提出を課すなどの対策で今は数えるほどに減少した。
- 年1回、社員アンケートで意見を吸い上げているが、その中で「手取りが減るから、残業をさせてくれ。」という声もある。時間外労働の上限規制後における、そういった声への対応は今後の課題である。

正社員

- 新卒者は、海外勤務もある総合職を中心にグループ全体で毎年100人程度採用している。
- 製造織は、比較的人材確保ができているが、さらに、生産現場では、特定の熟練工に頼らないように生産の機械化を進めている。
- 販売職は近年の当社が入っている商業施設の営業時間が長くなり、どうしても就業時間がシフト制になるため、生活のリズムが作りづらいこと、立ち仕事であること、土日祝出勤であることなどから要員確保に相当苦労している。
- いろいろな職種があるが、希望があれば異職種間の異動を認めている。産休・育休時にも同様で、柔軟な補充体制を取っているので、今では妊娠退職はほとんどいない。確実に復帰している。正社員には、総合職と一般職がある。総合職と一般職との間の転換は、希望すれば可能。
- 有給休暇については、工場勤務は日曜が休みで、他はローテーションで自分が好きなところを休んでいるので、年休を取る必要性をあまり感じていないようだ。このため、月を決めて4日の計画年休を実施している。

労働局長（左）と執行役員 兼 財務・人事・総務部 部長 武田隼人氏

非正規従業員

契約社員、パートは合わせて、製造、販売ともに全体の約80%。非正規従業員にも人事考課があり、一定のポイントを満たせば、正規登用があり、対象者の半分以上が正規転換している。

「「働き方改革」関連法について、「長時間労働の是正」には残業規制に取り組み、また、「年休5日時季指定」には計画年休で対応を考えている。但し、「正規と非正規との不合理な待遇差の禁止」については、職責、仕事の内容で区別は可能であろうが、これから具体的な取組が始まる。製造、販売とも全国に工場、店舗があり、影響が大きい「源吉兆庵」の今後の対応に注目したい。